



かわらばん

良城小 URL: <http://www.yamaguchi-ygc.ed.jp/ryojo-e/>

良城小学校
学校だより 10月号
児童数 806名
令和元年 9月26日

令和元年度の後半に向けて

校長 増野 淳一

早いもので本年度も9月末で半年が終了しました。あっという間の半年でしたが、4月にお示した「良城(吉敷)だからこそその教育の5つの重点項目」について、ここまでの状況を振り返ってみたいと思います。

1 新しい教育目標の達成に向け学校・家庭・地域が一体となった組織的な取組の推進

保護者、地域の方々による学校運営協議会に知徳体の3部会を設置し、6月末に新たな学校支援について熟議したことは大きな前進でした。授業への様々な地域の支援をお願いし、どんどん実現されています。4年生の歯科健康学習、5年生のミシン学習、6年生の地域の方の人生講話、竹馬遊びの開始等、良城だからこそその学習が一層充実してきました。ホタルまつりを地域と連携して行えたことも成果の1つです。

2 徳知体プロジェクトを中心とした「ダイナミックチャレンジ」によるステップアップ

学校の知徳体3プロジェクトの取組も進みつつあります。自主性を育てるための教育の在り方、挨拶運動への児童の参加、運動会の在り方など、少しずつ新たなチャレンジが始まっています。時代は常に変わり、子どもたちも日々成長しています。だからこそその教育もどんどん進化・深化していかなければなりません。レノファ山口連携についても、鴻南地域の活動となるように進めています。

3 コミスク活動の充実による「地域の方へあたたかい挨拶」ができる児童の育成

2学期から、毎月のあいさつの日に児童が交流センター前であいさつ運動に参加するようになり、小中児童生徒、地域を挙げての大きな取組となりました。2学期始業式には、大野将平先輩のように礼儀正しい子どもになろうと呼びかけましたが、目標にはまだまだ届いていないのが現状です。保護者、地域の皆様からも積極的に声をかけていただきますようお願いいたします。

4 同学年組織を中心とした「1000日プラン」の実践による人材育成の推進

若い職員が増えています。新採用から3年目までの職員を育成する1000日プランに沿って、学校運営協議会の方々も授業研究会に加わり、多様な視点から人材育成を進めています。今後10年間で4割以上の職員が入替わります。ベテラン職員の知見を引き継ぎながら、エネルギーあふれる柔らかな発想を融合していきます。人材育成の取組は、本校はとて進んでいると感じています。若手が伸びる良城小です。

5 図書館を活用した学習の実践による授業改善・学力向上の推進

11月7日に図書館教育中国大会が行われ、本校でも1、3、6年、支援学級で授業を公開します。現在、各学年で図書館を活用した国語の授業改善を進めており、図書館の先生が授業に加わったり、教科書に関連した他の本も読んで作者の考えを深めたりするなど、これまでにない多様な国語授業を行っています。大会に対しては、自治会、社会福祉協議会、個人の方々からたくさんの寄付をいただき、図書室の施設や児童図書を大変充実させることができました。本当に有難うございました。



運動会が終わると、いよいよ年度後半のスタートです。もっともっと楽しくてたまらない良城小学校教育へのご支援・ご参加(参画)をどうぞよろしくお願いいたします。